



日経連報千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

95.10.30 No. 4285

労働運動を甦らせよう!! 一日経連報告に屈し給許すな、

JR東労組、松崎の ワーキングアウト要求弾劾!!

日経連報告を

そのまま組合

報告に

日経連報告は、結局、首をきられようが、賃金を下げられようが、生活が全て破壊されようが、労働者が黙って従うことを前提にしてしかなりたない計画です。

連合は、この日経連報告のような大失業攻撃の前に、膝を折り、全労働者の不安定雇用化や年功制賃金の解体を「労働組合」の側から推進する立場にたっています。

電気連合、商業労連は、自ら「年功制賃金、長期継続雇用制度は見なおす」など、日経連報告をそのまま組合方針としています。

分割・民営化以来の大裏切り

こうした中で、JR総連・松崎は、「雇用を守るためには賃金を半分に下げることもしむを得ない」とワーキングアウト(

賃下げによる仕事の分かち合い) 研究委員会を作り、各地の講演では、「失業者が九七〇万人ぐらいになる可能性が」「だったら軍需生産でもなんでもやっつけ食っていけるようにしなければ、一番利益をあげるのは戦争だ」と、連合の転向・屈服の最先頭を切り、大失業対策にワーキングアウトと軍需生産を主張しています。

分割・民営化に率先協力した革マル・松崎は、国鉄労働者のみならず、今度は全ての労働者に対する大裏切りを、日経連報告の手先として開始しています。

一一・五から 反撃開始を

国鉄分割・民営化が強行され、総評が解散し、連合が結成されたとたん、大反動の扉が、堰をきったように開き、社会全般にわたる反動的転換が一挙に進みました。連合をたんに労使協調の労働運動と見ることは誤りです。労働者の団結と闘いを解体し、支配階級の側に取り込んでゆく攻撃の最大の仕掛けとして連合が結成されたのです。

しかし、大失業時代の到来によって、これまで、連合が、かろうじて求心力を保ってきた最後のよりどころ、「終身雇用」「年功制賃金」が崩れれば、後は、何ひとつ労働者の心をつかむ手段はありません。

労働運動をめぐる攻防戦は、これからの勝負です。一一・五労働者集会に総結集し、資本と連合指導部に対する反撃を開始しよう。
闘う労働運動の新しい潮流をつくらう。

11・5 全国労働者総決起集会

日時 11月5日(日) 正午
場所 日比谷野外音楽堂
【指定列車】 第1陣 千葉駅10時59分
(快速最後部) 第2陣 千葉駅12時25分

第17回サークル協団結運動会

日時 11月3日(金) 9時
場所 千葉公園内運動公園

総決起 万人参加

★勝浦運転区廃止攻撃粉碎 ストライキに起とう!

大失業時代

を撃つ

よみがえれ労働組合!
とりもどせ労働者の団結!
いまこそ反撃に起ちあがろう!

- 11月5日(日) 正午~
- 日比谷野外音楽堂
- 【指定列車】
千葉駅10:59発快速

全力で結集を!

11・5 全国労働者総決起集会

動労千葉
呼びかけ